

事業番号	事務事業名	大釣温泉施設臨時管理費	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
04463	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	商工観光係	担当者・シート作成者	大山 博聖
	施策名	25 観光の振興	根拠法令等	鏡野町大釣温泉条例 鏡野町大釣温泉条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	昭和57年に町民の健康と福祉の増進、及び観光休憩所として建設された同施設は、定期的に改修を行っているものの老朽化が激しい。本事業では、2階大宴会場のトイレ、1階レストランの網戸、地下風呂場の仕切板の設置を実施した。	現在の消防法では地下廊下に仕切板を設置する必要が生じたため。2階トイレは洋式化し、利用者の利便性を図る。また、1階レストラン網戸は、夏場に窓を開けると虫が入り込み、快適な食事環境が維持できなかったことから設置するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 大釣温泉の利用者	→ ア 大釣温泉の入込客数	人	見込 実績			15,000 19,746		
イ	→ イ		見込 実績					
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 安全に快適に利用してもらう	→ ア 大釣温泉の入込客数	人	目標 実績 達成率			15,000 19,746 131.6%		#DIV/0!
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 委託契約	→ ア 契約件数	件	目標 実績 達成率			2 2 100.0%		#DIV/0!
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 07 商工費	項 01 商工費	目 04 観光施設費	大事業 01 中事業 32	予算上の事業名	大釣温泉施設臨時管理費	事業番号	04463				
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源			10,817			10,817	一般財源			10,142			10,142
合計	0	0	10,817	0	0	10,817	合計(A)	0	0	10,142	0	0	10,142
財源名称	従事正職員人数									1			1
	延べ業務事務時間									20			20
	人件費計(千円)(B)						0	0	67	0	0	0	67
	最終予算額		10,817 千円		予算執行率		93.7%		トータルコスト(A+B)		10,209		10,209
主な支出事業内容(予算)	委託料			1,056 千円			主な支出事業内容(決算)	委託料			1,056 千円		
	工事請負費			9,761 千円				工事請負費			9,086 千円		

事業番号	04463	事務事業名	大釣温泉施設臨時管理費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
名勝奥津溪の中にあるお食事処、日帰り温泉施設として、観光客や町民などから利用されている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
地元食材を使用したバイキング料理の提供を他ではない安価で行っており、今後の利用も期待される。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
名勝奥津溪の中にあるお食事処、日帰り温泉施設として、また立地の良さから観光客に期待されており、今後も利便性や快適性を向上しPRしていくことが望ましい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	観光施設としてだけでなく、町民の健康増進施設としての機能を果たしており、結び付いている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	観光推進や地域交流など、町が掲げる政策にも合致しており、指定管理施設として地域住民に管理を委託しているが、今後の利用促進などを図っていくためにも町として関与すべきである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	地元の自然資産により、町内外の観光客などに来場してもらうことが目的であり、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	観光利用以外にも、町民の健康増進施設として利用されている。泉質の良さや景観の良さをPRして、成果向上に繋がっていく余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	町民の健康増進施設としての利用を今後も促進して行くべきであり、休廃止の影響はある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	施設の広報周知など、町内外へ利用を促すための手段は検討すべきであり、改善余地がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	経常的な費用に関しては、指定管理料として妥当である。当該臨時管理費については、経年劣化に伴う更新であり、利用者の利便性を考えれば削減余地は無い。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	指定管理料に内包されている人件費としては妥当な水準であり、削減余地は無い。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町内外の観光客等に利用されており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	大釣温泉は恵まれた景観の良さと泉質の良さとで、利用者からの評判は良し。ただ、昭和57年に建設された施設であり、老朽化が課題である。自然公園内であり、安易な改修が出来ないため、抜本的な見直しが必要となっている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 老朽化した施設が課題であるが、自然公園内であり安易な改修は困難である。今後、北部地域の観光振興を検討する中、抜本的な見直しを図る。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
施設立地箇所が、自然公園内であり安易な改修が困難である。施設の維持管理について検討する。																									